

あなたがずっと住みたくなる
活気あふれるまち

主要都市からの好アクセスと
水と緑豊かな立地環境の良さから
多賀町の工業団地には
多くの企業が集積し、
産業に新たな力を加えています。

多賀工業団地

静かな田園地帯に麒麟ビール滋賀工場として操業し、敷地面積は、約38万㎡で甲子園球場10個分の大きさです。

麒麟ビール(株)滋賀工場
麒麟ビバレッジ(株)滋賀工場

TOKYO

NAGOYA

OSAKA

KYOTO

日本のちょうど真ん中。 主要都市からのアクセス。

びわ湖東部 中核工業団地

名神高速道路や国道、東海道新幹線などにより、主要都市からのアクセスが良好で多くの企業が操業しています。

共栄社化学(株)
(株)坂本金型工作所
参天製薬(株)
積水化学工業(株)
(株)SCREENホールディングス
(株)アーキレフ
(株)ニイタカ
日世(株)
森下仁丹(株)
(株)MJ滋賀

中川原工業団地

総面積15haあり、平成3(1991)年に株式会社平和堂多賀物流センターが創業。その後も多数の企業が創業しています。

地元雇用で
地域経済を
活性化



ずっと
住みたくなる
ヒミツ

びわ湖東部中核工業団地や
多賀工業団地の整備によっ
て、地域の経済基盤が強化さ
れ、雇用の安定に結びついて
います。



企業立地の進展が
多賀町の明日を拓く

関西、中部、北陸経済圏のちよ
うど中間に位置する本町は、名
神高速道路や国道、ＪＲ琵琶湖
線、東海道新幹線などにより主
要都市からのアクセスが良好で、
びわ湖東部中核工業団地をはじ
めとする工業団地に優良企業が
集積しています。本町ならではの
豊かな自然、好立地といった環境
面が注目を集め、各企業の主力
生産拠点として、次代に向けた産
業空間を形成してきました。この
ような企業立地は、地元での雇用
が高められ、地域貢献の面でも大
きな成果をもたらし、湖東地域の
活力の創出に結びついています。

多賀第二工業団地

平成24(2012)年に竣工し、翌
25年に株式会社エフペーカリー
コーポレーション滋賀事業所が
操業しました。

FBC
エフペーカリーコーポレーション



新規就農者育成総合対策

次世代を担う農業者となることを志す49歳以下の人に対し、就農準備段階や経営開始時の早期の経営確立を支援する資金を交付しています。



地元産材の活用

地域おこし協力隊の制度を活用し、森林の循環と地域産材の活用に取り組んでいます。



豊かな資源を活かし
農林業の振興へと導く

基幹産業である農林業の分野では、担い手を育てるため、農業用機械やパイプハウスの導入に対しての支援事業および特産物の生産振興支援に取り組んでいます。農業では特産品の開発やブランド化、農業後継者への支援と育成、認定農業者への支援を図るなど、農業の安定に努めています。全体の土地面積の約86%が山林の自然豊かな多賀町。そんな多賀町の第一次産業である、林業では地元産材を活用した中央公民館「多賀結いの森」の建築をはじめ、住宅・公共施設・木工品など、木材の地産地消や

消費拡大を推進しています。また、新しい流通による活性化をめざし、林業関係者による多賀町森林循環事業協同組合を設立し、取組を進めています。

そういった取組の一方で、森林所有者の高齢化・不在村化により、森林に関する経営意欲が低下し、間伐等の手入れが行われていない森林や、境界が不明である森林が増加しつつあります。このような森林を減らし、森林の公益的機能が十分に発揮されるよう、境界明確化事業や森林の整備を推進していきます。

誰もが活躍するまち

あなたがずっと住みたくなる

誰もがいきいきと
活躍できる地域づくり

多賀大社をはじめとする奥深い歴史・文化は、本町を代表する地域資源です。特に観光分野において、その歴史的・文化的な背景を伝えることによって、観光資源としての価値を高めています。その一端を担っているのが多賀観光ボランティアガイドで、多賀大社を中心に魅力を磨き上げ、観光客に発信しています。また、多賀大社のある中心市街地では、空き家・空き店舗を活用し、創業意欲のある人が創業しやすいよう支援しています。これらの他、就労支援の充実や地元雇用の促進など、安定した就労機会の充実に努め、誰もがいきいきとやりがいをもって働ける環境づくりを進めています。



多賀町商工会

地域事業者が会員となって、経営相談や地域振興事業など、ビジネスやまちづくりのために活動しています。また、創業相談窓口を設け、創業支援を行っている支援機関を紹介しています。



多賀観光 ボランティアガイド

多賀大社を中心としたガイドコースを設け、心に残るおもてなしをモットーに、歴史や文化を案内しています。

詳しくは
こちら！



地産地消の取組

学校給食に地場産物を活用しているほか、おいしいと評判の給食メニューを参考にした、おたき給食弁当販売の取組もされています。



あなたがずっと住みたくなる

自慢の食を 味わうまち

郷土に受け継がれてきた、

作り手の愛情あふれる特産品。

風光明媚な多賀ならではの

あの味、この味が

今日を豊かにしてくれます。

お持ち帰り用も
販売しています



多賀そば

11月から収穫し、12月上旬には新そばが味わえます。芳醇な香りと喉越しの良さが特に優れています。

桃原ごぼう

特有の粘土質の赤土で栽培され、シャキシャキとした食感が特徴です。一般では販売はされていませんが「桃原プロジェクト」が春に種まき、秋に収穫祭を開催しています。

2014年に復活！
多賀の伝統野菜

地元のよびかけにより、多賀町・JA東びわこ・滋賀県が試験栽培をおこないました。

※現在は「桃原プロジェクト」が活動中

多賀にんじん

一般的になんじんよりも糖度が高く、生で食べても甘みが強いのが特徴。栄養もたっぷりです。

多賀のシャインマスカット

令和2年度からシャインマスカットの産地化を開始。粒が大きく、皮ごと食べることができ、さわやかな甘さが特徴です。

地域に伝わる
多賀の自慢を発掘・発信

積み重ねてきた歴史や豊かな自然環境が多賀の特産品を生み出してきました。多賀大社門前で古くから親しまれてきた糸切餅や鍋焼きうどんなどの名物をはじめ、多賀産米、多賀にんじんなどの農作物、地酒などはまちが誇る逸品です。また、近年、そばの栽培に適した地形や気候を活かし、近畿地方でも指折りのそば栽培地が広がり、多賀そばを味わえるお店も増えてきました。生産が途絶えていた桃原ごぼうを復活、流通させる取組もあり、特産物を利用した商品開発の確立や、販売促進を図っています。

鍋焼きうどん

多賀大社門前の名物、土鍋でぐつぐつと煮込まれた鍋焼きうどん。具たくさんで出汁の香りが漂います。

多賀の米

自然環境に配慮した「環境こだわり米」や、使用する肥料を厳選した「特別栽培米」の米作りが盛んにおこなわれています。

清酒 多賀

鈴鹿山系から流れ出る水と、近江米から造られたお酒は絶品。延寿のお酒として多賀大社の神賑行事にも使われています。

多賀の銘菓

あられ

国産もち米100%使用のあられ。山と田んぼに囲まれた自然豊かな多賀で一粒一粒を丁寧に焼き上げています。

糸切餅

多賀名物の代表格で、米粉で作った白い餅でこしあんを包んだもの。やわらかく、ほんのり塩気を感じます。

多賀のふるさと納税

自慢の品々を
ご自宅でも！

神話と歴史に彩られた緑豊かな多賀町では、鈴鹿山系に育まれたミネラル豊富な清水と、昼夜の寒暖差を活かし、さまざまな農産物が生産されています。ふるさと納税では、近江牛やお酒、お米などの返礼品を用意しています。寄附の活用事業は「環境保全に関する事業」「子育て支援および福祉に関する事業」などから選べます。



ふるさと
チョイス



楽天
ふるさと納税



ふるなび



Amazon



さとふる



湖国バス

湖東圏域で運行する路線バスです。路線バス位置情報システム「バスここクル」をパソコンやスマートフォンで利用するとバスの位置情報を地図上に表示し確認することができます。



「バスここクル」はこちら！



愛のリタクシーたが

予約型乗合タクシーで、路線バスと同じように運行時刻やルートが設定されており、病院やスーパーに直結します。



滝の宮スポーツ公園

グラウンド・ゴルフ場や体育館、屋外プールなどを揃え、町民の憩いの場、健康増進の施設として親しまれています。

近江鉄道

地域に親しまれている鉄道路線で、地域住民と同社社員が一緒になってイベントを行うなど、沿線のにぎわい創出に取り組んでいます。



B&G海洋センター

体育館やトレーニングルーム、屋内多目的運動広場、屋内プールなどを備え、スポーツが楽しめます。



基本施策Ⅵ 都市基盤・住環境

令和5年4月に下り線開通！

多賀スマートインターチェンジ

多賀サービスエリア(下り線)に接続し、産業振興や観光振興、救急医療活動の強化などの効果が期待されています。

令和7年度冬に上り線開通予定！



多賀スマートインターチェンジ(上り)線完成予想図

あなたがずっと住みたくなる

便利に暮らすまち

大切なのは暮らしに寄り添うこと。

一人ひとりがずっと住みたくなるまちづくりを

未来へと紡いでいきます。



多賀サービスエリア

ショッピングコーナーやフードコート、専門店の他に、入浴・仮眠ができるレストインも備えたサービスエリア。



地域行政情報誌 暮らしの便利帳

役場での各種申請や子育て、防災、健康、福祉といった行政情報の他、アケボノゾウをはじめとする歴史・文化や自然、行事などを網羅しています。



暮らしの便利帳

より良い住環境で
誰もが暮らしやすいまち

都市基盤・住環境の分野では、生活基盤としての道路や河川、森林を適切に整備・維持管理するとともに、地域の特性に合わせた公共交通を維持していくことが必要となっています。本町では令和5年4月、名神高速道路に接続する多賀スマートインターチェンジ下り線が開通し、令和7年度冬には上り線も開通予定となっています。スマートインターチェンジの開通により、物流の円滑化などによる産業振興の向上や、多賀大社から高速道路インターチェンジへのアクセス時間が約7、8分短縮されるなど、周辺地域の新

たな玄関口となることで観光客の増加が期待されています。

生活基盤においては、本町の魅力である自然を後世に残すよう環境に配慮した施策が求められている中、町道多賀絵馬通り線などの幹線道路網の整備など、地域に応じた生活基盤整備に努めています。また近年、宅地開発が進み、併せて若者定住支援施策の取組や本町の自然をはじめとする魅力から転入者が増加し、急激な人口減少が抑えられている状態です。他にもB&G海洋センターや滝の宮スポーツ公園など多種のスポーツを楽しめる施設があり、多くの町民の方に利用されています。今後もより良い住環境で、便利で暮らしやすいまちづくりに取り組みます。

History of Taga town 70年のあゆみ

昭和30年の町村合併による誕生から70年、
ふるさとはかけがえのない時を刻んできました。

昭和30年 旧多賀町役場庁舎



昭和30年
1955

昭和40年 町制10周年記念式典



昭和40年
1965

昭和48年 町の花、町の木、町の鳥決定



昭和42年
公募により多賀町章制定



昭和49年 滋賀県野鳥の森開場式典



昭和30年	4月1日 町村合併促進法により、旧多賀町・大滝村・脇ヶ畑村の3町村が合併し、新制多賀町となる。(人口10,489人、面積134.29km ²) 大上東中学校を廃し、町立多賀中学校、同岸谷分校、脇ヶ畑分校、町立大滝中学校、大君ヶ畑分校を設置 初代多賀町長に土田茂平氏が就任 多賀大社万灯祭、初の開催 霊仙入谷大火(22世帯焼失)、災害救助法発動 橋崎橋竣工 「広報多賀」第1号発行
昭和31年	10月2日 第1回町民体育大会開催(多賀小学校) 3月9日 新制多賀町として初の町議会議員選挙執行(3選挙区、総定員26名) 3月31日 芹川ダム竣工 4月 県道水口線(国道307号・犬上川) 福寿橋竣工
昭和32年	4月10日 多賀小学校北校舎(鉄筋3階建) 竣工 8月1日 多賀町そ菜園芸組合結成 12月 県道津彦根線(306号・佐目) 両宮橋竣工
昭和33年	11月4日 多賀小学校で完全給食実施 2月10日 河内風穴が滋賀県天然記念物に指定される 3月20日 皇太子殿下ご成婚記念事業として権現谷10haに 滋賀県緑化大会、大君ヶ畑で開催 4月3日 仏ヶ後橋竣工
昭和34年	5月1日 町長に土田茂平氏再選 5月10日 大滝小学校で完全給食開始 6月 県道津彦根線(306号・佐目) 大西橋竣工 8月 県道川相水源寺線、樋田橋完成 9月26日 伊勢湾台風襲来、災害救助法発動
昭和35年	1月8日 中学校統合の基本決定 3月23日 町議会議員選挙執行(全町1区、定数20名) 10月15日 多賀町商工会設立
昭和36年	4月1日 大滝柔道少年団発足 8月5日 有料狩猟区設定 10月5日 多賀他13力字都市計画区域決定
昭和37年	3月25日 川相地先犬上川ショートカット工事竣工 4月1日 多賀中学校岸谷分校を廃し、本校に統合 初めての空中防除実施 8月12日 多賀他2字簡易水道給水開始(多賀・尼子・敏満寺) 9月29日 多賀町防災会条例施行 災害対策本部設置
昭和38年	5月1日 町長に集治政太郎氏就任 5月 統合中学校建設審議会設置 4月12日 名神高速道路多賀サービスエリア開業
昭和39年	4月30日 町長に山本外次郎氏就任 8月12日 第1回町内少年少女ソフトボール大会開催 11月27日 多賀町観光協会設立
昭和40年	4月30日 町制10周年記念式典開催 10月1日 多賀町観光協会設立
昭和41年	2月18日 町長に藤本豊蔵氏就任 3月31日 旧大滝、脇ヶ畑地区山村振興法の地域指定 1月1日 公募により多賀町章制定
昭和42年	8月13日 多賀郵便局新庁舎竣工 9月29日 多賀大社奥書院、県文化財に指定 彦根市・米原町・稲枝町・多賀町で合併協議会設置(11月9日多賀町脱退)
昭和43年	3月31日 多賀町有線放送農業協同組合放送通話開始 4月1日 旭金属工業所滋賀工場創業開始 7月22日 町議会議員が無投票当選定数12人 11月16日 犬上ダム周辺地域 鈴鹿国定公園に指定 明治100年祭開催 多賀町中央公民館にて開催 多賀中学校校章制定
昭和44年	3月27日 多賀町青少年育成町民会議結成 3月31日 多賀中学校脇ヶ畑分校廃校 10月12日 県主催植樹祭 梨ノ木地先にて開催 11月10日 県道津彦根線が国道306号に、県道彦根水口校方線が国道307号に昇格
昭和45年	2月10日 町長に林清一郎氏就任 6月1日 県営大幹線林道(御池線) 着工 9月1日 多賀中学校統合校舎竣工 12月10日 多賀町商工会街路灯設置
昭和46年	1月18日 多賀工業団地にキリンビール株式会社滋賀工場立地決定 4月1日 土田栄太郎氏が町に1億円を寄付 4月11日 大滝小学校、旧大滝中学校校舎に移転 6月11日 都市計画区域決定 10月16日 黎明館土田家育英資金条例制定
昭和47年	3月31日 町役場保月支所廃止 4月 多賀町上水道事業として、公営企業水道庁舎(現・敏満寺浄水場)にて業務開始 9月27日 多賀工業団地着工
昭和48年	1月21日 株式会社カシサカ滋賀工場操業開始(現株式会社ピカ・コーボレシオン) 6月18日 水道事務所敏満寺に移転 8月31日 多賀町浄水場水源本館竣工 9月12日 農業振興地域整備計画認可 10月2日 町の花「ささゆり」、町の木「杉」、町の鳥「うぐいす」に決定 12月28日 都市計画用途地域街路計画決定
昭和49年	2月18日 町長に林清一郎氏再選 3月26日 多賀町名誉町民条例公布 4月1日 土田栄太郎氏に第1号の名誉町民の称号を贈る 5月14日 消防事務を彦根市に委託 キリンビール株式会社滋賀工場操業開始 9月 湖東広域衛生管理組合発足

世界の動き

昭和30年	6月 初のアルミ貨幣、1円硬貨発行 6月 「117」の時報スタート 8月 ソニーが初のトランジスタラジオを発表 9月 50円硬貨発行 11月 自由民主党結成55年体制スタート
昭和31年	1月 三原山大噴火 1月 石原慎太郎の「太陽の季節」が芥川賞受賞 7月 気象庁発足 12月 日ソ国交回復
昭和32年	1月 南極昭和基地開設 10月 5000円札発行 12月 100円硬貨発行
昭和33年	2月 日本初のバレンタインチョコ発売 10月 フリップ発売大流行 12月 10000円札発行
昭和34年	2月 キューバ革命カストロが首相に 4月 皇太子殿下ご成婚
昭和35年	5月 チリ地震津波襲来 9月 カラー放送開始
昭和36年	1月 ケネディ大統領就任 4月 世界初の有人宇宙船の打上に成功
昭和37年	2月 東京が世界初の1000万人都市に 6月 北陸トンネル開通 13869m
昭和38年	7月 名神高速道路開通 11月 新10000円札発行 11月 ケネディ大統領暗殺
昭和39年	6月 新潟大地震発生M7.5 9月 びわこ大橋完成 10月 東海道新幹線開業 10月 第18回オリンピック東京大会開催
昭和40年	3月 日本の人口が1億人を突破 6月 祝日法改正敬老の日・体育の日・建国記念日 6月 ビートルズ来日
昭和41年	10月 ツイッギー来日、ミニスカート旋風
昭和42年	5月 十勝沖地震発生 6月 小笠原諸島が日本に復帰 7月 郵便番号制スタート 8月 日本初の心臓移植手術実施 10月 新宿騒乱事件 12月 三億円事件発生
昭和43年	1月 東大安田講堂事件 5月 東名高速道路全線開通 11月 500円札発行 12月 日本で初めてのATM設置 住友銀行
昭和44年	3月 大阪万博開催 3月 日航よど号事件 4月 大阪ガス爆発事件発生 11月 ケンタッキーフライドチキン1号店開店
昭和45年	4月 ミスタードーナツ1号店開店 7月 マクドナルド1号店開店 12月 1ドル308円に切り上げ
昭和46年	2月 浅間山荘事件 3月 山陽新幹線開業 5月 沖縄返還本土復帰 6月 日本列島改造論 田中角栄 9月 中国交正常化 11月 北陸トンネル事故
昭和47年	1月 ベトナム戦争終結 2月 円高騰 1ドル264円に 10月 第4次中東戦争 石油危機

昭和50年
町制20周年記念式典



昭和50年
1975

昭和53年 町民憲章草案提出



昭和54年 多賀町役場新庁舎竣工



昭和60年
1985

昭和59年 B&G財団多賀海洋センター竣工式



平成2年 台風19号襲来



平成2年
びわこ東部中核工業団地
湖東開発事務所開拓



昭和50年	3月16日 町立土田老人憩の家竣工 3月31日 第2期山村振興事業開始 3月 広域農道（県道甲良多賀線）犬土大橋竣工 5月8日 町制20周年記念式典開催 7月31日 住友セメント株式会社多賀工場閉鎖 10月10日 敏満寺地区団体営ほ場整備事業着工 10月10日 住友セメント株式会社跡地にダイニツク株式会社立地決定
昭和51年	3月21日 町議会議員選挙執行（定数12名） 10月31日 第24回滋賀県植樹の集い青龍山（敏満寺）にて開催
昭和52年	2月1日 多賀町同和教育推進協議会設置 2月8日 多賀町文化協会設立 10月12日 第2期山村振興事業イワナ生産施設竣工 10月20日 ダイニツク株式会社創業開始 11月11日 町立霜ヶ原生活改善センター竣工
昭和53年	2月18日 町長に林清一郎氏3選 11月10日 多賀町民憲章制定 11月30日 町立富之尾生活改善センター竣工
昭和54年	2月11日 町役場新庁舎竣工 2月11日 町民憲章碑建立 5月3日 町立多賀福祉会館竣工 12月20日 町立川相生活改善センター竣工
昭和55年	3月25日 町立佐目多目的集会所竣工 3月30日 大滝小学校ミニバスケットチーム男子全国大会 6月26日 多賀町総合計画「心のふれあう住みよいまちづくり」策定 7月2日 毒蛇事件（1か月捜査） 7月29日 林業振興地域に指定 11月2日 多賀町歴史民俗資料館開館
昭和56年	12月16日 雪害対策本部設置 12月26日 多賀町少年剣道クラブ発足
昭和57年	2月8日 町長に林清一郎氏4選
昭和58年	2月12日 町立大君ヶ畑集会所竣工 2月27日 町民武道館竣工 3月14日 大滝漁業管理休憩センター竣工 3月30日 町立林業会館竣工
昭和59年	2月8日 雪害対策本部設置 2月11日 鹿兒島県日置郡伊集院町と兄弟都市提携盟約 3月18日 町長に中川泰三氏就任 7月24日 B & G財団多賀海洋センター竣工
昭和60年	3月7日 彦根犬上広域斎場「紫雲苑」竣工 4月31日 町立いずみ保育所廃止 4月24日 町制30周年記念式典開催 4月24日 町民グラウンド竣工 10月21日 多賀町植樹の集い開催 11月3日 町民の歌・多賀音頭制定 11月28日 多賀町史編集事業開始

昭和62年	2月10日 芦川河川景観形成地区に指定 3月 国道306号大君ヶ畑洞門第1期工事竣工（L・2000m） 5月17日 大滝小学校創立100周年記念式典 7月25日 全国ケイピング大会開催 河内風穴新窟発見 10月28日 多賀町植樹・育樹の集い開催 11月1日 第1回多賀町ふるさと祭りを開催 11月5日 杉の子福祉作業所開設
昭和63年	2月2日 振替納税の町宣言 3月13日 町長に中川泰三氏再選 4月1日 公共下水道事業基本計画策定 8月6日 につぼん多賀さん祭り開催 8月6日 彦根犬上農業共済組合設立 12月5日 ダイニツクアストロパーク天究館で小惑星「TAGA」を発見
昭和64年	5月20日 ダイニツクアストロパーク天究館新小惑星「1989AB」発見 7月 県道佐目敏満寺線小原橋竣工 8月 多賀町公共下水道工事着手 8月29日 第24回滋賀県消防ポンプ操法訓練大会ポンプ車の部で多賀町消防団優勝 9月30日 第25回全国障害者スポーツ大会（札幌）で山田次子さん（梨ノ木）が50m平泳ぎで金メダル獲得 11月10日 国土地理院で多賀町面積135・93kmに訂正 12月6日 びわ湖東部中核工業団地造成事業、県土地開発公社と調印
平成元年	9月8日 国道306号、佐目トンネル開通 9月1日 庁内電算化開始 9月19日 台風19号襲来
平成2年	8月8日 町長に中川泰三氏3選 3月15日 水道事業給水開始30周年 4月1日 ダイニツクアストロパーク天究館天文公園竣工
平成3年	6月18日 第3次多賀町総合計画「歴史・ロマン・神秘の里づくり多賀」策定 7月25日 びわ湖東部中核工業団地起工式 11月9日 中川原工業団地でイセト紙工株式会社創業開始 12月10日 中川原工業団地で株式会社平和堂創業開始 12月10日 多賀町史刊行上巻、下巻
平成4年	3月1日 町長に中川泰三氏3選 4月1日 水道事業給水開始30周年 5月13日 ダイニツクアストロパーク天究館天文公園竣工
平成5年	4月1日 大滝小学校萱原分校、同富之尾分校を本校に統合多賀小学校校舎谷分校を本校に統合 5月22日 滋賀県植樹の集い開催 5月22日 町花「ささゆり」の組織培養に成功 9月22日 多賀町平和都市宣言制定 12月3日 大滝山林組合設立100周年 12月17日 「人権尊重の町宣言」制定
平成6年	3月31日 梨ノ木配水池竣工 4月25日 鹿兒島県日置郡伊集院町との兄弟都市提携10周年記念式典 8月8日 森林資源活用センター竣工 10月1日 特別養護老人ホーム「天上ハートフルセンター」竣工 10月4日 森林体験交流センター竣工 10月4日 県道多賀永源寺線、細原橋竣工

世界の動き

昭和49年	3月 中央自動車道恵那山トンネル開通（8489m）で日本最長、世界第2位 5月 日本初のコンビニが開店
昭和50年	3月 山陽新幹線全線開業 東京―博多間6時間56分
昭和51年	1月 日本初の五つ子誕生 2月 ロッキード事件 7月 田中角栄逮捕 10月 酒田大火発生
昭和52年	7月 キャンデーーズ解散
昭和53年	5月 成田国際空港開港
昭和54年	5月 サッチャーが英国首相に
昭和55年	12月 日本の自動車生産台数1000万台突破、世界に
昭和56年	2月 ローマ法王ヨハネ・パウロ二世初来日
昭和57年	2月 ホテルニュージャパン火災事故 4月 500円硬貨発行 6月 東北新幹線開業 7月 商業捕鯨全面禁止 11月 上越新幹線開業
昭和58年	3月 中国自動車道全線開通 4月 東京デイズニランド開園
昭和59年	9月 大韓航空機墜落事件 10月 三宅島大噴火
昭和60年	3月 科学万博つくば85開幕 6月 大鳴門橋開通 8月 日航ジャンボ機墜落事故 12月 NTTフリーダイヤルサービススタート
昭和61年	4月 男女雇用機会均等法施行 4月 チエルンブイ原発事故発生 11月 三原山大噴火
昭和62年	4月 国鉄民営化 8月 ペン・ジョンソン100m世界新9・83秒
昭和63年	3月 東京ドーム完成 4月 瀬戸大橋開通
昭和64年/平成元年	1月 昭和天皇陛下ご崩御、年号が昭和から平成へ 4月 消費税（3%）実施 6月 天安門事件 11月 ベルリンの壁崩壊
平成2年	4月 国際花と緑の博覧会開催 10月 東西ドイツ統一 11月 即位の礼
平成3年	1月 湾岸戦争勃発 5月 信楽高原鉄道衝突事故 12月 ソビエト連邦崩壊
平成4年	3月 新幹線「のぞみ」登場、新大阪―東京2時間30分 6月 PKO法案成立 7月 山形新幹線開業 東京―山形2時間30分
平成5年	6月 皇太子殿下ご成婚
平成6年	9月 関西国際空港開港

平成 23 年
第32回「星空の街・あおぞらの街」全国大会 in多賀



平成 22 年
高齢者等生きがい空間施設「もんぜん亭」オープン



平成 16 年 町立多賀ささゆり保育園開園



平成 17 年

2005

平成 14 年 多賀大社駅前コミュニティハウス竣工式



平成 11 年
移動図書館「さんさん号」
町内巡回サービス開始

History of Taga town
70年のあゆみ

平成 10 年 佐目小学校を多賀小学校に統合



平成 7 年

1995

平成 23 年	平成 22 年	平成 21 年	平成 20 年	平成 19 年	平成 18 年	平成 17 年	平成 16 年	平成 15 年	平成 14 年	平成 13 年	平成 12 年	平成 11 年	平成 10 年	平成 9 年	平成 8 年	平成 7 年
11月2日 大谷第2配水池竣工	4月1日 南後谷浄水場軟水処理設備導入 東日本大震災救援派遣(職員3名) NHK夏期巡回ラジオ体操「みんなの体操会」開催 少年野球クラブ第7回国際ユース野球大会イタリア大会優勝 第23回「星空の街・あおぞらの街」全国大会in多賀町開催 愛のりタクシー「たがゆいちゃん」運行開始 小惑星番号7019が「たがゆいちゃん」と命名される 東日本大震災の被災地、福島県須川市の火祭り、「松明あかし」へ多賀町から竹500本を提供	3月31日 多賀町公共下水道事業完了 高齢者等生きがい空間施設「もんぜん亭」オープン 古例大祭にて町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」デビュー 川相浄水場膜ろ過設備導入 町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」のイメージソング「心ゆいゆい」が完成、発表	3月31日 多賀町公共下水道事業完了 高齢者等生きがい空間施設「もんぜん亭」オープン 古例大祭にて町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」デビュー 川相浄水場膜ろ過設備導入 町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」のイメージソング「心ゆいゆい」が完成、発表	3月31日 多賀町公共下水道事業完了 高齢者等生きがい空間施設「もんぜん亭」オープン 古例大祭にて町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」デビュー 川相浄水場膜ろ過設備導入 町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」のイメージソング「心ゆいゆい」が完成、発表	3月31日 多賀町公共下水道事業完了 高齢者等生きがい空間施設「もんぜん亭」オープン 古例大祭にて町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」デビュー 川相浄水場膜ろ過設備導入 町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」のイメージソング「心ゆいゆい」が完成、発表	3月31日 多賀町公共下水道事業完了 高齢者等生きがい空間施設「もんぜん亭」オープン 古例大祭にて町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」デビュー 川相浄水場膜ろ過設備導入 町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」のイメージソング「心ゆいゆい」が完成、発表	3月31日 多賀町公共下水道事業完了 高齢者等生きがい空間施設「もんぜん亭」オープン 古例大祭にて町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」デビュー 川相浄水場膜ろ過設備導入 町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」のイメージソング「心ゆいゆい」が完成、発表	3月31日 多賀町公共下水道事業完了 高齢者等生きがい空間施設「もんぜん亭」オープン 古例大祭にて町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」デビュー 川相浄水場膜ろ過設備導入 町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」のイメージソング「心ゆいゆい」が完成、発表	3月31日 多賀町公共下水道事業完了 高齢者等生きがい空間施設「もんぜん亭」オープン 古例大祭にて町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」デビュー 川相浄水場膜ろ過設備導入 町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」のイメージソング「心ゆいゆい」が完成、発表	3月31日 多賀町公共下水道事業完了 高齢者等生きがい空間施設「もんぜん亭」オープン 古例大祭にて町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」デビュー 川相浄水場膜ろ過設備導入 町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」のイメージソング「心ゆいゆい」が完成、発表	3月31日 多賀町公共下水道事業完了 高齢者等生きがい空間施設「もんぜん亭」オープン 古例大祭にて町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」デビュー 川相浄水場膜ろ過設備導入 町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」のイメージソング「心ゆいゆい」が完成、発表	3月31日 多賀町公共下水道事業完了 高齢者等生きがい空間施設「もんぜん亭」オープン 古例大祭にて町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」デビュー 川相浄水場膜ろ過設備導入 町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」のイメージソング「心ゆいゆい」が完成、発表	3月31日 多賀町公共下水道事業完了 高齢者等生きがい空間施設「もんぜん亭」オープン 古例大祭にて町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」デビュー 川相浄水場膜ろ過設備導入 町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」のイメージソング「心ゆいゆい」が完成、発表	3月31日 多賀町公共下水道事業完了 高齢者等生きがい空間施設「もんぜん亭」オープン 古例大祭にて町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」デビュー 川相浄水場膜ろ過設備導入 町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」のイメージソング「心ゆいゆい」が完成、発表	3月31日 多賀町公共下水道事業完了 高齢者等生きがい空間施設「もんぜん亭」オープン 古例大祭にて町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」デビュー 川相浄水場膜ろ過設備導入 町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」のイメージソング「心ゆいゆい」が完成、発表	3月31日 多賀町公共下水道事業完了 高齢者等生きがい空間施設「もんぜん亭」オープン 古例大祭にて町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」デビュー 川相浄水場膜ろ過設備導入 町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」のイメージソング「心ゆいゆい」が完成、発表

世界の動き																
平成7年	1月	阪神・淡路大震災														
平成8年	3月	地下鉄サリン事件発生														
平成9年	7月	O157が原因とみられる集団食中毒事件発生														
平成10年	4月	消費税3%から5%に														
平成10年	7月	香港が中国に返還される														
平成11年	7月	長野新幹線開業														
平成12年	9月	改正住民基本台帳法成立														
平成13年	8月	欧州統一通貨ユーロ導入														
平成13年	4月	国旗・国歌法制定														
平成14年	1月	雪印・牛肉偽装事件発覚														
平成14年	10月	北朝鮮拉致被害者5人24年ぶりに帰国														
平成15年	4月	日本郵政公社誕生														
平成16年	12月	東京、名古屋、大阪でTV地上波デジタル放送スタート														
平成16年	5月	長野県浅間山噴火														
平成17年	11月	新潟県中越地震														
平成17年	11月	新10000円、5000円、10000円札発行														
平成18年	12月	スマトラ沖大地震発生M9														
平成18年	2月	トリノ(イタリア)オリンピックで、荒川静香フィギュアスケートでは日本人初となる金メダル														
平成19年	3月	第1回ワールドベースボールクラシック開催、日本代表初代優勝国														
平成19年	9月	悠仁親王殿下ご誕生														
平成20年	7月	新潟県中越沖地震														
平成20年	10月	郵政事業、民営化スタート														
平成21年	5月	中国四川省で大地震、4万人死亡														
平成21年	7月	主要国首脳会議、洞爺湖サミット開催														
平成21年	11月	アメリカ大統領選バラク・オバマが当選														
平成22年	5月	裁判員制度施行														
平成22年	6月	新型インフルエンザが世界的に流行、WHOは警戒水準をフェーズ6とし、パンデミック(世界的大流行)を宣言														
平成23年	7月	皆既日食														
平成23年	11月	アメリカ大リーグ、ヤンキース松井秀喜、日本人初のワールドシリーズMVP獲得														
平成23年	3月	東日本大震災、福島第一原子力発電所が被害を受け、深刻な原子力事故が発生														
平成23年	6月	サッカー日本女子代表「なでしこジャパン」FIFA女子ワールドカップドイツ大会初優勝														

基本施策Ⅳ

環境・コミュニティ

普段から地域コミュニティを基礎とした顔の見える関係や人のつながりをつくり、互いに支え合い、助け合える地域をつくっていくため、地域・家庭・事業所など、生活のさまざまな場面で人権意識・平和意識の向上に取り組み、誰もが平等で暮らせる、明るいまちづくりを推進します。また、自ら課題解決や地域の活性化に取り組む、主体的で活発なコミュニティ活動を育みます。町民との協働による環境保全や資源循環の活動を推進し、まちぐるみで資源循環の仕組みづくりと低炭素化を実現するまちづくりを進めます。



もんぜん市（地元野菜の販売）

基本施策Ⅴ

まちの活力

農林業・商工業・観光など多様な産業との連携を強化し、まちの立地環境や地域資源を活かした新たな事業所の創業、製品開発や経済循環を通じた既存事業所の活性化を図ります。また、産業団地への立地企業をはじめとする町内事業所との信頼関係の構築と事業環境の向上、新たな用地の確保により、既存企業の定着と企業誘致を推進します。さらに、まちの環境・資源を活用し、回遊性や経済効果のある観光振興を推進するとともに、多賀大社を中心とした中心市街地のにぎわいづくりを推進します。



地産地消の取組

基本施策Ⅵ

都市基盤・住環境

誰もが利用しやすい公共交通の確保・維持に努め、町民や生活者が安心して日常活動・移動できる環境を構築するとともに、国・県道や景観に配慮した道路など、地域の活性化と魅力づくりにつながる道路の整備を推進します。また、まちの個性・魅力を発揮する良好な景観を保全・形成し、自然・風土・歴史を次代に継承します。良好な住環境の維持・向上を進めるとともに、増加する空き家の活用による若年層の受け皿づくりなど、新たな定住人口の確保に向けた取組を推進します。



多賀スマートインターチェンジ

基本施策Ⅶ

行財政

激動する社会潮流や多様化・複雑化する町民ニーズに対応し、限られたまちのリソース（人的資源、資産、財源など）で効率的に運営できる行財政システムの構築を図ります。また、町民をはじめ、まちづくりに関わるあらゆる主体との協働・連携により、相互の信頼を高めるとともに、効果的な施策や取組の推進を図ります。さらに、湖東圏域による取組をはじめ、複数自治体の協力によって公共サービスの効率化や地域の魅力の向上につながる広域連携の推進を図ります。



役場窓口

輝く人、自然、歴史・文化で織りなす 多賀の未来

未来を担う子どもたちが元気に、希望をもって育ち、
誰もが笑顔で暮らせるまちを継承していきます。

基本施策Ⅰ

子どもの育ちと子育て

多賀町で子育てしたいと思えるまちをつくるために、子育てを応援する取組をさらに充実させ、本町ならではの子育ての環境を創出する必要があります。まち全体で子育てを応援し、安心して子育てができる環境や仕組みをさらに充実させていくとともに、未来に活躍する子どもたちがまちに愛着をもって、健やかに育つまちづくりを進めます。また、子どもたちが自らの力で未来を切り拓く力を育む教育を実践します。さらに、子どもをはじめ、さまざまな世代のふれあい・交流を育む場づくりを進めます。



多賀町の教育の取組

基本施策Ⅱ

生涯学習・協働

身近な地域や広域とのつながりを大切にするために、地域コミュニティをはじめ、趣味・職場、社会活動など、町民の誰もが何らかの形でつながり、孤独感のない地域をつくっていくことが大切です。先人から受け継いだ貴重な歴史・文化・伝統・自然をまち全体が一体となって守り、活用していきます。また、町民、そしてまちに関わる各主体の人材を育成し、その参加と協働で多様なまちづくりの取組を進めていきます。さらに、子どもからおとなまでスポーツを楽しむまちづくりを進めます。



多賀町中央公民館「多賀結いの森」

基本施策Ⅲ

安全・安心・健康

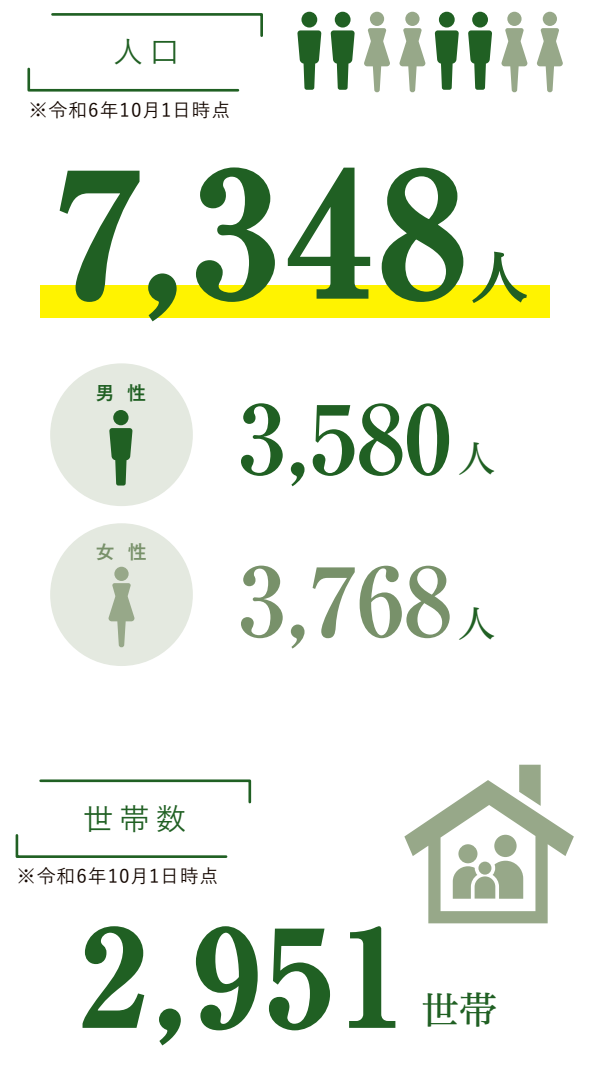
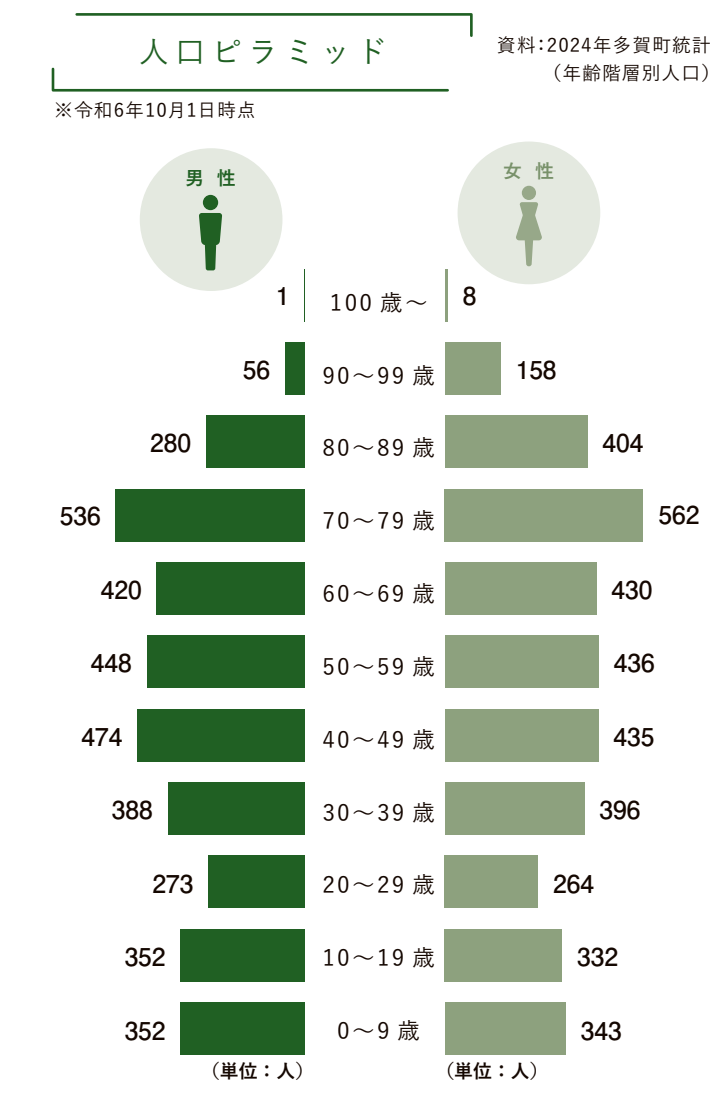
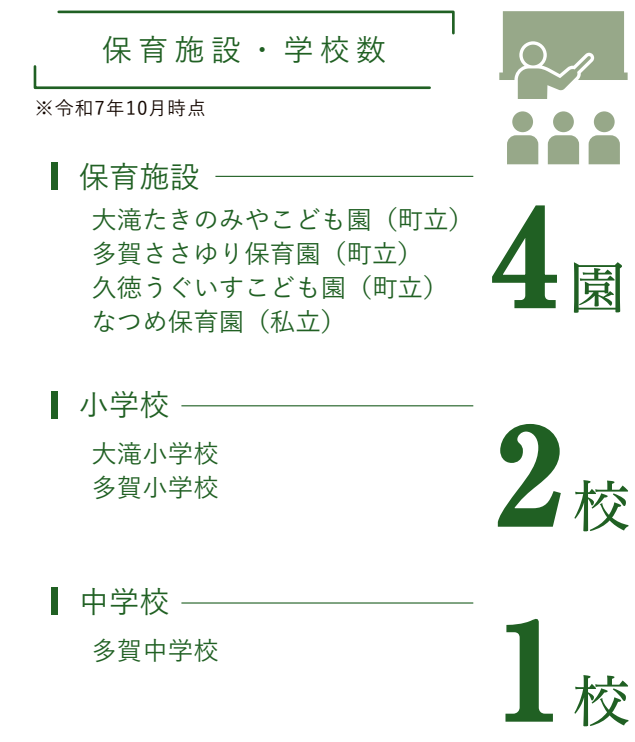
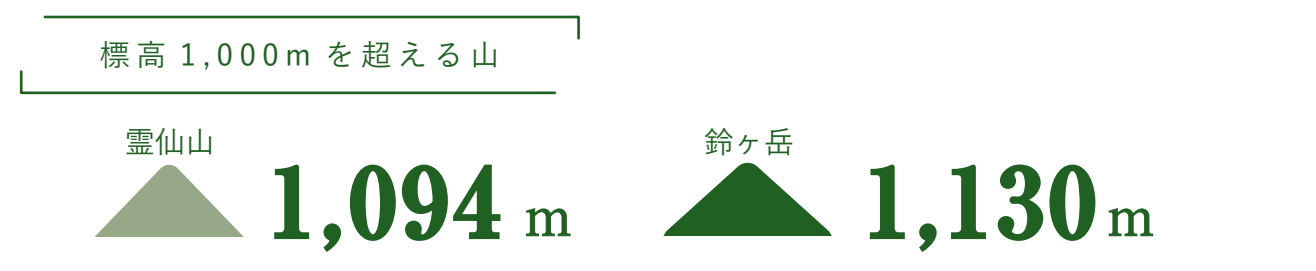
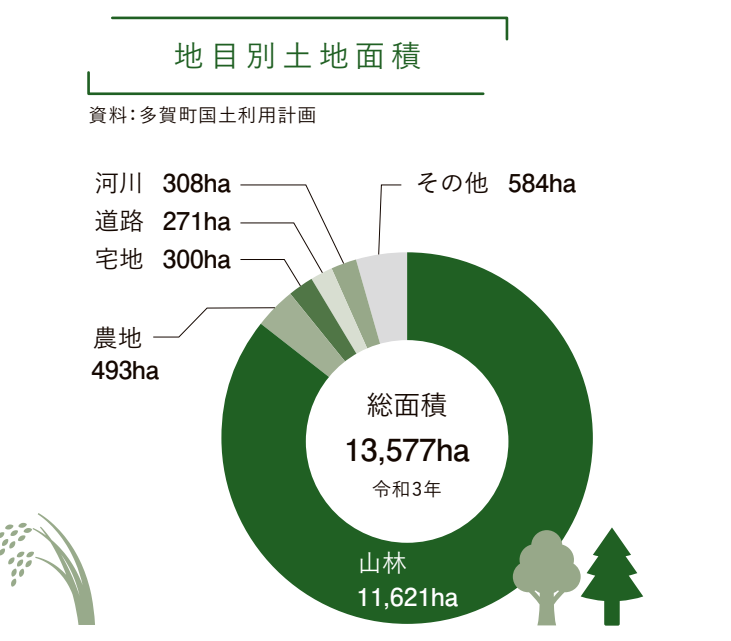
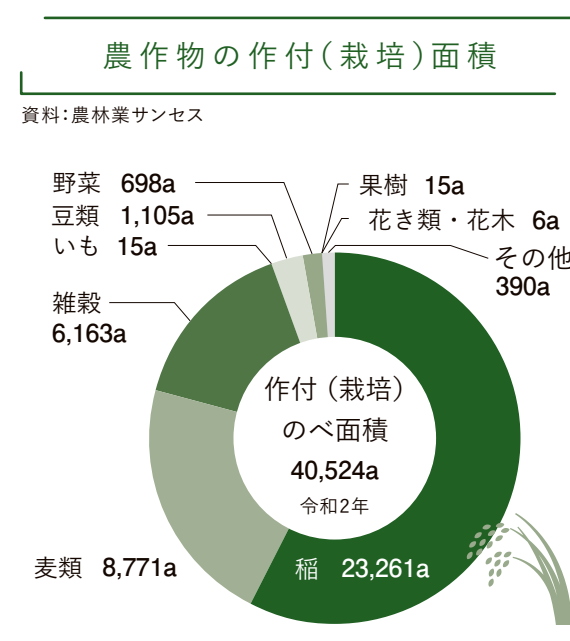
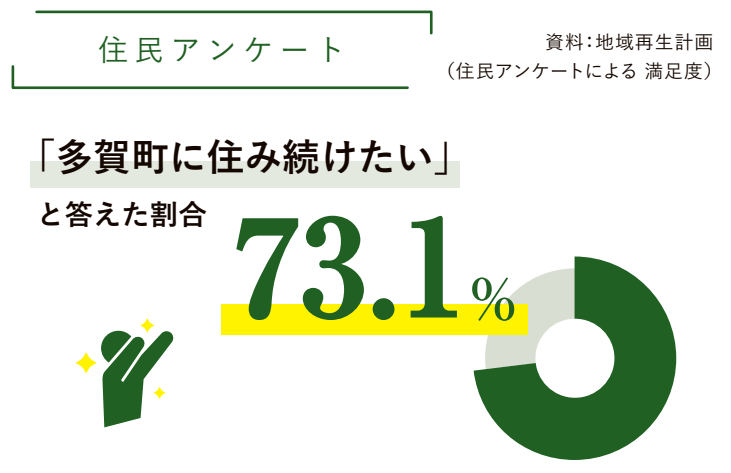
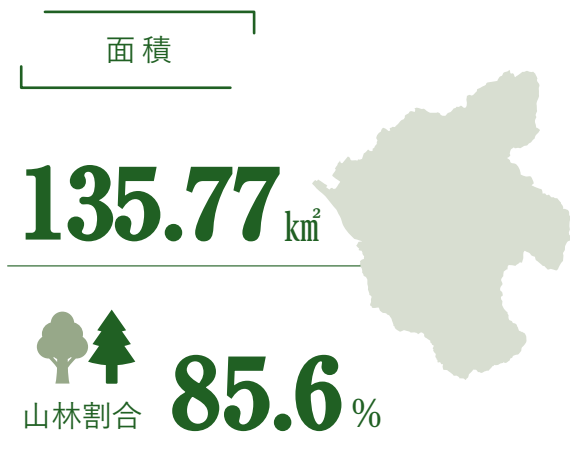
町民の誰もが安心して暮らし続けられるよう、防災・減災に取り組むとともに、新たな感染症への対応も含めた危機管理体制の強化を図ります。また、健康・医療関係機関などと連携した、町民の健康づくりを支える取組を進めます。さらに保健・福祉・医療や地域の関係者が一体となつて、地域で支え合う地域福祉の充実（地域包括ケアシステムの構築）や、高齢者や障がいのある人に関わらず、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくり（地域共生社会）を進めます。



消防車

数字で見る 多賀町

町制施行70周年を迎え、
まちの統計にも
さまざまな変化がありました。
多賀町の「今」を
数字でみてみましょう。





SHIGA

TAGA MAP



多賀町の頭文字「タ」を図案化したもので、円は町の平和と円満を表し、円内に向かった矢印は、向上発展の勢いを象徴し、円下部の三支点は、旧三町村が合併して新しい町をつくり、これを支え合う意を示しています。
昭和42年1月1日制定

鈴鹿山系の水と緑に恵まれた
自然環境にありながら、
高速道路や国道、鉄道が縦横し、
都市部へのアクセスも良好なまちです。

ACCESS

車の場合

大阪	阪神高速/第二京阪奈/名神高速 約80分	多賀スマートIC ※令和7年度冬開通予定	約5分
京都	名神高速 約50分	多賀スマートIC ※令和7年度冬開通予定	約5分
名古屋	名古屋高速/名神高速 約90分	多賀スマートIC	約5分

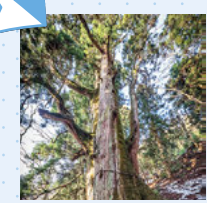
電車/バスの場合

大阪駅	JR線 約80分	彦根駅	徒歩 約3分	彦根駅(バス)	多賀線 約30分	多賀町役場前(バス)	徒歩 約15分
京都駅	JR線 約60分	彦根駅	徒歩 約3分	彦根駅(近江鉄道)	彦根多賀大社線 約20分	多賀大社前駅(近江鉄道)	徒歩 約15分

多賀町

※多賀町役場までの時間を表記しています。

町の木



杉

町の花



ささゆり

町の鳥



うぐいす



多賀町民憲章

鈴鹿山系の緑と芹川・犬上川の清流に恵まれた多賀町に住むわたくしたちは、日常生活の心構えとしてこの町民憲章を定めます。

わたくしたち多賀町民は

- 一、 郷土に住む喜びを感謝し、
平和で明るい町をつくります。
- 一、 歴史と伝統を生かし、教養を深め、
かおり高い文化の町をつくります。
- 一、 互いに励まし助けあい、
心のふれあう町をつくります。
- 一、 清くたくましい青少年のそだつ、
健全な町をつくります。
- 一、 働くことに喜びをもち、
しあわせな家庭、豊かな町をつくります。

多賀町町勢要覧 2025

発行：多賀町
発行年月：令和7年10月
〒522-0341
滋賀県犬上郡多賀町多賀324
TEL：0749-48-8111（代）
<https://www.town.taga.lg.jp>
表紙写真：県指定天然記念物 飯盛木（尼子）